

高温環境の泌乳牛には、高エネルギー、抗酸化飼料を

農研機構 九州沖縄農業研究センター、
畜産草地研究領域



泌乳牛に対する地球温暖化適応対策として、夏季高温期には、通常飼料に加えて、脂肪酸などの高エネルギー飼料と抗酸化ビタミン類などの抗酸化飼料の同時給与が、泌乳量低下を10-20%改善する。

1 脂肪酸飼料と抗酸化ビタミン給与の効果

	推定乳量(kg/日)	推定乳価(円/日)	追加コスト(円/日)	増収(円/日)
無処理	28.6	3174.6	0	-155.4
脂肪酸給与	30.8	3418.8	67.7	21.1
抗酸化ビタミン給与	30.5	3385.5	47.3	8.2
脂肪酸と抗酸化ビタミン給与給与	34.0**	3774	115	329

脂肪酸は300g/日。抗酸化ビタミンは100g/日。乳価を111円/kg、1日乳量を30kg/頭として。

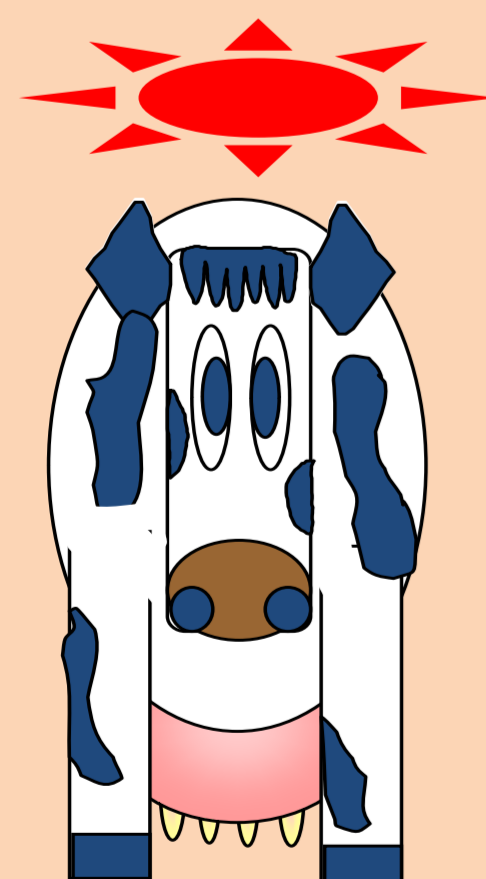
2 給与効果の経済性評価

脂肪酸給与量(g/日)	ビタミン給与量(g/日)	資材費(円/日)	増乳量(kg/日)	増乳効果(%)	増収益(円/日)
300	100	115	5.4	18.8	484
200	100	92.4	2.7	9	207.3
140	60	60	0.9	3	39.9

増乳量、増乳効果、増収益は、無処理と比較した場合。

3 気候変動への適応策

暑熱期の抗酸化ビタミンとエネルギー補給で



脂肪酸 300g/日
ビタミンA 100万単位
ビタミンD 10万単位
ビタミンE 1.0g



乳量**15%アップ**

ふりかけでも



30kg/日としても500円/頭増
資材費を引いても300円/頭以上増収

100頭搾乳なら8月だけで

90万円増収も

● 普及・社会実装への道筋

- 学会活動
家畜栄養生理学会誌 2014.9
- 普及誌公表
デイリーマン 2017.7
酪農ジャーナル 2014.7
農業共済新聞 2014.6
- 農家実証試験3年

